

7 現状と課題の整理

前段までに提示した社会経済の動向や各種統計データ、実態調査の結果などを踏まえ、現状と課題を整理し、分野ごとに「豊島区のいま」をまとめます。

区をとりまく社会経済状況

- 新型コロナウイルス感染症や国際情勢不安による世界経済への打撃
- デジタル化の推進とデジタル産業の育成への動き
- 誰一人取り残さない社会の実現に向けたSDGsの取組の活性化
- グリーン社会の実現に向けた機運の高まり

区の概況

- 全国的に少子高齢化が加速する一方で、豊島区の人口は約29万人と増加傾向
- 池袋駅の乗降客数は都内主要駅中3位を誇る、高い交通利便性
- 商業地の地価の上昇(23区中6位)

中小企業・消費生活

現状

- 売上高の減少傾向、新型コロナウイルス感染症による悪影響が継続
- 事業所数(約1.9万)、従業員数(約27万人)が増加傾向
- 「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」の順に事業所が多い
- 創業比率は全国平均を上回り、23区中5位
- エシカル消費に関する認知度が低い

課題

- 販路拡大と人材確保を課題視する事業者が多い
- 景気の影響や社会情勢の急速な変化に対応することが困難
- 多様な人材が起業に挑戦できる環境が不足している
- 消費者のみならず事業者への情報発信が必要

商店街

現状

- 地域に密着した多彩な 87 の商店会
- 会員の高齢化、商店会数および会員数の減少
- 区に求める支援の 1 位は空き店舗対策
- 若手・後継者の育成が進んでいない

課題

- 商店会の組織力・活動力が低下している
- 来街者が利用しやすい、安全・安心でにぎわいあふれる商店街づくりが必要
- 商店街の情報発信が不足しており、来街者の回遊につながらない

雇用・働き方

現状

- 高齢者／女性の就業者数(約 2.4 万人／約 9.7 万人)が増加
- 豊島区に住み働く人は約 3 割であり、増加傾向
- 外国人就業者の割合が高い(23 区中 4 位)
- 半数以上の事業者が人材不足

課題

- 人材不足の解消のため、多様な経験を持つ人材の獲得が必要
- 次世代の育成や円滑な事業承継はハードルが高い
- 多様な働き方が広まらず、人材が定着しづらい

観光

現状

- 宿泊施設数は多いが(23 区中 3 位)、滞在日数が短い(1 日が 6 割)
- 訪問目的は「観光・娯楽・レジャー」が最多、池袋エリアが 8 割以上を占める
- クリエイティブ産業の割合は約 15%(23 区中 9 位)

課題

- 地域の魅力の掘り起こしとターゲットに応じた情報発信が不足している
- 誰もが観光を楽しめる環境整備が必要
- 観光消費額の拡大に向け、産業と観光を融合させた新たな取組が必要

以上の分析結果を踏まえ、次章からは豊島区の産業が目指す姿と具体的な取組の方向性をまとめます。